

# どんな経験も必然！ 遠回りだったとしても夢を追いかけて

倉田賀世 熊本大学法学部准教授

## 短大卒業後は、地元の長野で ラジオのレポーターに

私の人生はとにかく波瀾万丈です。高校卒業後は、短大の家政科に進み、その後、実家のある長野県にてラジオのレポーターを2年くらいやっていました。仕事を通じて再び向学心に目覚め、東京都立大学の法学部に入学。卒業後は北海道大学大学院法学研究科に進んだ後、研究員や大学の助手、講師などを経て、現在に至っています。その間、結婚・出産の経験もし4人の子どもたちにも恵まれました。

法学の道へ進んだ理由は「数字に弱く、(屁)理屈が好きだった」ためです。研究テーマは主にふたつあり、ひとつは大学院時代より継続している『ドイツの家族政策』。特に憲法規範が家族支援政策にどのように影響しているのかについてを調べています。もうひとつは、日本の社会福祉サービスの利用関係の変化が、利用者にもどのような影響をもたらしているかについて研究を行っています。



ドイツに在外研究で滞在していた時、子どもを持つお母さんと交流 (2005年)

## 人生90年と考えると 時間はたっぷりある！

この仕事の魅力は、自分が疑問に思ったり、より深く理解したいと思ったテーマについてじっくりと調べ、とことん考えを深めることができることです。また、自分とは世代や価値観が異なる人たちと議論したり、時には勉強の場を離れて交流することで、さまざまな考えに触れることができる。これは大学教員の魅力だと思います。

研究者の仕事は時間的な区切りをつけることが難しく、時に“ライフ”を疎かにしがちですが、私の場合は子どもがいるので必然的に“ライフ”をしなければなりません。しかし、そのおかげで時間の使いわけができ、公私の区切りをつけることができているような気がします。

現在の女性の平均寿命は86歳。ひと休みしたり遠回りしても、時間はたっぷりある時代です。焦ることなく、じっくりと自分の進みたい道を探し出し、いつの日かゴールにたどり着けるよう頑張ってみてくださいね。



ゼミの卒業生が巣立つ時は、親になったかのように誇らしく、また、寂しい気分で一杯になります



Kayo KURATA

法学部  
博士課程  
研究員(PD)  
大学教員

やる！と  
決めたらまず  
とことんやって  
みることです

### One day

6:30	起床
	家事(朝食準備・洗濯・掃除など)
8:30	大学へ
	講義・研究活動など
18:00	終業→帰宅
19:00	夕食
21:00	家事や仕事の続き
23:00	就寝

◎座右の銘

向かい風の中で嘆いてるよりも  
うまくいく事を想像すれば  
いつの日か変わる時が来る  
(嵐のHappinessの歌詞より)

### profile

くらたかよ / 1997年東京都立大学法学部卒業。2003年北海道大学大学院法学研究科博士後期課程単位修得満期退学後、日本学術振興会特別研究員(PD)として3年間勤務。2006年より北海道大学法学部助手、関西外国語大学外国語学部講師を経て、2010年より現職。20歳の長女を筆頭に、9歳の長男まで4人の子どもがいる。

### アンケート より

Q.職場環境や待遇についての不満とは？

- 研究の時間がとれない
- 雑用が多い
- 女性教員が少ないので話す人がいない
- 給与カット(8%)は厳しい
- 職位が上がらない⇒評価されていない気がする